

第5次小牧市男女共同参画基本計画
(ハーモニーV) 策定に向けた
ワークショップ
報告書

令和7年12月
小 牧 市

1 目的

「第5次小牧市男女共同参画基本計画（ハーモニーV）」を策定するにあたり、地域における生の声を把握し、今後の計画に反映することを目的として、市民や学生の皆様から幅広いご意見をいただく男女共同参画ワークショップを開催しました。

2 実施場所

小牧市まなび創造館 研修室

3 実施手法

グループワーク形式での意見交換を行いました。

4 実施日程

(1) 市民ワークショップ

令和7年11月29日(土) 10時00分～12時00分

(2) 学生ワークショップ

令和7年12月6日(土) 13時30分～15時30分

5 実施テーマ

(1) 市民ワークショップ

テーマ①：男女共同参画についての現状を知ろう

テーマ②：誰もが暮らしやすい社会になるには？

(2) 学生ワークショップ

テーマ①：日常で感じているもやもやを共有しよう

テーマ②：将来こんな暮らしができればいいな

6 参加者人数

(1) 市民ワークショップ

グループ	人数
Aグループ	5名
Bグループ	5名
Cグループ	5名
合計	15名

(2) 学生ワークショップ

グループ	人数
Aグループ	3名
Bグループ	3名
合計	6名

7 意見のまとめ（概要）

（1）市民ワークショップ

テーマ①：男女共同参画についての現状を知ろう

【職場】

- ・男女の賃金・昇進格差
- ・育児休暇の男女間でのとりやすさの違い

【家庭】

- ・男性は仕事、女性は家事という考えがある
- ・子育てや介護は女性のやることだという考えが残っている

【その他】

- ・男性らしく女性らしくしなさいと言われた
- ・年代によって男女共同参画の理解に差がある
- ・地域や学校の長は男性が多い

テーマ②：誰もが暮らしやすい社会になるには？

【家庭】

- ・話し合う機会を設け、家事は分担する

【地域】

- ・地域でつながり、互いが支え合う
- ・女性の地域役員の増加
- ・お年寄りから子どもが気軽に参加できる居場所

【サポート】

- ・男女共同参画社会について講座をふやす
- ・車がなくても生活ができる
- ・24時間に対応してもらえる介護や子どものお助け
- ・男性も子育ての勉強できる機会

(2) 学生ワークショップ

テーマ①：日常で感じているもやもやを共有しよう

【家庭】

- ・男子が力仕事をする
- ・女の人は家で家事をして、男の人は外で働く

【学校】

- ・制服が男子はズボン・女子はスカートだった
- ・男子が重い物を運ぶ
- ・男女で部活動の種類の違いがある
- ・生徒会や委員会は性別ごとに参加できる人が決まっている

【その他】

- ・異性を好きになるのは当たり前か
- ・同性を好きになるのはいけないことか

テーマ②：将来こんな暮らしができればいいな

【学生】

- ・ワークショップが増え、たくさんの人とかがかわる
- ・どんな部活動に入っても気まずくならない学校生活を送りたい
- ・見た目に関する校則がなくなってほしい

【社会人】

- ・男性優先や女性優先などではなく、平等に互いをゆずり合える
- ・社会人で男性の方が評価されやすい→女性のことも評価してほしい
- ・大人になっても人とふれあえるイベントが欲しい
- ・女性が働きやすい職場環境

【育児・結婚】

- ・育児や家事を2人で協力してやりたい
- ・同性でも結婚できる制度

8 意見のまとめ（詳細）

（1）市民ワークショップ

テーマ①：男女共同参画についての現状を知ろう

Aグループ

【職場】

- ・職場でのお茶くみは、なぜ女性がやるのか
- ・自分は仕事から何十年も遠ざかっていますが、外資系で働く知人によると男女差別は一切ないそう
- ・気遣ってくれる雰囲気もあるので、いやな気持ちはしない（お茶出し）

【家庭】

- ・結婚したての頃親せきの集まりで、女性は下座の方に座るところ
- ・男性らしく女性らしくしなさいと言われた
- ・男性は将来を考えて仕事を休まない方が良い、女性が休んで介護にあたりなさいという考え
- ・女性は、4年大学に出してもらえてありがたいと思いなさい

【家事】

- ・年齢と共にゴミ出しをする男性が増えてきた
- ・庭の植木の刈りは男性がほとんどで女性が刈っていると男性（夫）にどうしたの？ときかれる

【年代の違い】

- ・年代によって男女共同参画を理解出来ていない
- ・昔の人間の夫は、家事は妻だという
- ・男性、女性2人の収入で経済的に成立しているのにかわらず、家事も子育てを含めいろいろな事柄は女性の仕事とする男性の意識
- ・年代によって考え方に違いがあるようだが、家庭の仕事（家事・子育て・介護 etc）は、女性が行うもの、男性は手伝い程度でOK。2人で協力し合って分担して取り組もうとする意識が弱い、ない！
- ・子育てを含め物事がうまくいかないと対応した女性が悪いと思う男性が多いこと
- ・知人の夫は何もせず子育てや家事は妻まかせ私共の年代はまだまだこのような家庭が多いような気がする

【地域活動】

- ・地域の長（組長・区長 etc）は男性が多い
- ・学校のPTA会長は男性（現在PTAがあるのかどうか？）
- ・地域活動は年齢と共に女性が増えてきた
- ・地域のパトロール、男性が多い

【女性への理解】

- ・男性は女性の出産とかの辛さを理解しない

Bグループ

【家庭】

- ・家事を分担していても女性の負担の方が大きい気がする
- ・子育て、家事、近所づきあい、介護に対する負担が女性の方が多い
- ・性別によって待遇が違う（重たいものを運ぶのは男性の役割・電機交換等）
- ・男は大切に育てられた

【職場】

- ・男女の昇進格差
- ・男女の賃金格差
- ・子の有無によって受けるサービスや会社の支援が違う

【男女のうえつけ】

- ・まだまだ昔の考えが根づよいなと思う
- ・女→赤・男→青
- ・中学高校の制服のギモン

【女性】

- ・女性ですがとても有利だと日頃感じている
- ・女性も強いのかな
- ・保育園の園長、職員は女性が多い
- ・男性って育児休暇とりにくい？とりやすい？

【地域】

- ・弱者へのバスなどの交通網
- ・区の役員のほとんどが男性
- ・「昔」持ち出したいくないのですが男社会そのものだった

Cグループ

【男女差別】

- ・墓を守るのが男性となっているように感じる
- ・この集まりに男性の参加が少ないのは？小牧の男性の意識が低いという事となる？
- ・役員は男性が多く感じる
- ・行事等は男性中心が今でも残っている

【子ども・若者】

- ・登校拒否の子を無理行かせなくても良い
- ・自分がブレずに心地よい所で過ごしてほしい。特に若い人

【家庭】

- ・若い方は家庭での役割がうまくいっていると思う

【女性についての実体験】

- ・子育てにおいて母はスケジュールをたてるが父はただ出ていく
- ・子に何かあったら母（女）のせいになりやすい
- ・子供が小さいころはほとんど母親が見ていた
- ・平日は夫が仕事しているので地域の仕事は妻がしていた
- ・女は家庭を守るよう言われた
- ・男性は中々仕事が辞めづらいように感じる

【ポリシー】

- ・自分自身いつもいい場所にいる事

【性について】

- ・女性ホルモンでのゆらぎへの理解
- ・夜やどこかにいくところでの性被害のリスク

テーマ②：誰もが暮らしやすい社会になるには？

Aグループ

【家庭】

- ・それぞれの思いや考えを出し合って話し合う機会をたくさん設け、お互いに納得して物事を進めていくこと
- ・家事は話し合いで分担する

【地域活動】

- ・資源回収など積極的に参加・手伝いをする
- ・地域活動の女性増が必要。地域役員との話し合い
- ・地域の活動世帯主＝男性が行うという意識を変えない、家族の中のやれる人が参加する
- ・足腰の丈夫な人が何でもやればよい

【隣人関係】

- ・お年寄りと子どもが共存できる居場所
- ・ひまな年寄りがウロウロたくさんいるので遊べる所
- ・若い人たちは理解出来ているのでこれが普通になる様
- ・若い人は遠慮がち
- ・小さい子がいても手を差しのべにくい
- ・お隣りさんに声かけをする
- ・子どもにあいさつをするとスッと逃げていく

【行政】

- ・小牧の端の方に在住している高齢の母が、病院へ行くのに車が手放せない
- ・産休をとると仕事が出来ない、会社も困る。リモートとかで出来る事はないか
- ・男女共同参画社会について講座をふやす

【学校教育】

- ・小学生の頃から、生活するとは、結婚するとは、お金の管理など暮らし始めて初めて分かる生活の事をもっと教えて欲しい

Bグループ

【家庭】

- ・父親も子育てに参加しましょうはおかしい
- ・県民の日→オヤの休日 参観日や育休につなげる

【地域社会】

- ・人口減少→超高齢化社会→核家族社会を変えて祖父母、近所、町、市が互いに支えあう社会をめざす
- ・気軽に参加出来る場

【意識づけ】

- ・男性か女性かを意識しないようにする
- ・自分の心の偏見をわかる

Cグループ

【家族・家庭】

- ・家族のつながり

【サポート】

- ・24時間いつでも障がい介護において Help をよべる
- ・24時間いつでも子を預けられる
- ・お金のかからない仕組みづくり
- ・車がなくても生活できる
- ・おみやげ→弁当→温泉券
- ・商業施設をもっと多くしてほしい

【地域】

- ・個人情報メリットデメリットのバランス
- ・病院でも番号で呼ばれ人間関係が築きにくい
- ・となりの人の表札がなくどんな人が住んでいるかわからない

【生涯学習】

- ・子供や高齢者の理解（今現在の）
- ・男性も子育ての勉強できる機会
- ・生理や閉経など性の授業（高齢者でも可）

(2) 学生ワークショップ

テーマ①：日常で感じているもやもやを共有しよう

Aグループ

【家庭】

- ・男子は力仕事をたくさんする
- ・女の人は家で家事をして、男の人は外で働く事→男の人が家事をして、女の人が働いても生活に大きな影響を与えることはない

【心】

- ・男だから、泣いてはいけない→人には、それぞれ個人差があるからおかしいと思う

【学校】

- ・習いごととしてたらそれはできてあたりまえ？
- ・生徒会や委員会は性別ごとに参加できる人が決まっている
- ・体育の準備などは男子がやる
- ・女子が握力強いのおかしい？
- ・合唱のパートテノール、バス→男子ソプラノ、アルト→女子がしないといけない？
- ・柔道部女子いじめられてる→見てるこっちも気分悪い
- ・女子の制服はスカート→冬寒いズボンはきたい
- ・女子なら成績いいのあたりまえ→努力してもできない人いるのにな

【その他】

- ・おたがいの好きなもの、こと
- ・異姓が好きになるのは当たり前か
- ・同性同士だと、安心できるし、失敗してもいい気がする
- ・政治は男性が多い
- ・女子ならあまりはしゃいでないでおとなしくすごすべき→楽しくないな
- ・男子・女子の職業

Bグループ

【学校】

- ・学校でどうして男子が重い物を運ばなきゃいけないのか。
- ・先生が荷物運びを男子にしかたのまない
- ・少し前まで中学校は体育別々
- ・女子ばかりにハンデがある
- ・男子バド部・女子サッカー部がない
- ・前は制服が男子はズボン・女子はスカートだった
- ・吹奏楽部に入っていて吹奏楽部は女が入るんじゃないの？と言われた経験がある
- ・教室の後ろでむらがってるの大体男子なイメージ
- ・「女子って怖い」と言われる

【恋愛】

- ・同性を好きになるのは…
- ・なんで男子と遊んではいけないの
- ・女子からでもナンパ？逆ナン？？？

【仕事】

- ・なんで看護師は女の人しかやっちゃだめみたいなのがあるのか
- ・なんでアニメのヒロインが大体女の人なのは
- ・家で母と父が「育児は女・仕事は男」と言う
- ・学校だとリーダーを選ぶとき女子の方が信頼されてる？
- ・なんで男子はスカートをはいたらダメ？
- ・男女1：1にする必要ある？
- ・リーダーを選ぶ時、男子から決めるの？

テーマ②：将来こんな暮らしができればいいな

Aグループ

【大人まで・学校でやりたいこと】

- ・男女の部活によって差別がある→どこに入っても気まずくならない学校生活を送りたい
- ・自分の好きを分かってくれる
- ・多くの人とふれ合い、話す
- ・たくさんの人と関わる
- ・今起きている問題を色々な人と考える授業をしたい
- ・学校に合格する点数が女子の方が高い→一緒にしてほしい

【大人、社会人】

- ・空いた時間にできる仕事を増やす
- ・社会人で男性の方が評価されやすい→女性のことも評価してほしい
- ・女性の給料に補助金を出す
- ・女性は妊娠とかで仕事がしにくい→制度作ったら働きやすくなるのでは？
- ・子育て支援を維持する
- ・会社に子育てできる施設を作ると子供もうみやすいし仕事も続けやすい
- ・大人になっても人とふれあえるイベントが欲しい
- ・女性がはたらきやすい職を増やしてほしい

Bグループ

【学生】

- ・見た目に関する校則がなくなってほしい
- ・将来、男子が女子にしゃべりかけても好き好き同士なの～？などの風潮をなくしてほしい
- ・今回のようなワークショップが増えてほしい申し込み型でも学校でやる形でも
- ・番号順や背の順、席は、男女で別にしなくてもよくなるといいな…
- ・男子校、女子校はなくなるほうがいい
- ・性別があいまいな人の更衣室は？
- ・共学を増してほしいな

【社会人】

- ・男性優先や女性優先などじゃなく、平等に互いをゆずり合えるといいな
- ・男性専用車両があるようなまちになってほしい
- ・体験期間はあってもいいのに

- ・それぞれの職業で男女の差がうまれないといいな…
- ・会社内での男女の差を可視化してほしい

【育児・結婚】

- ・育児や家事を2人で協力してやりたいな。
- ・育休 男が短い×稼いでいる方が短い○
- ・名字が選べるようにしたらいいのに
- ・同性でも結婚できる制度がつくられるといいな…

9 総括

今回のワークショップでは、「男らしさ・女らしさ」について議題にあがりましたが、家庭、職場、地域、学校などの現場で、性別に基づく固定観念が根強く存在していることが浮き彫りとなりました。家庭では、家事・育児・介護の負担が女性に偏り、男性は家事の手伝いに留まる傾向や、職場では昇進や賃金における男女格差が指摘されています。また、地域活動や学校内でも、性別に応じた役割分担の意識が残っており、意識改革の必要性が強く感じられました。

また、学生ワークショップでは、男女の制服や部活動選択の差異に関する指摘や同性間の恋愛や結婚に関して肯定的な意見があげられており、若い世代において、性的マイノリティを含めたジェンダー平等の意識が高まっていることがうかがえました。

男女共同に関する正しい理解のもと、家族間での話し合い、地域・学校での平等な交流、そして全世代が互いに譲り合いながら支え合う社会の実現が、誰もが暮らしやすい未来に欠かせないといえます。